

東村山ものしりシート

7

令和2年8月発行

くめがわ^{でんしゃとしょかん}電車図書館-4

くめがわ^{でんしゃとしょかん}電車図書館のあゆみ その1



1967年 ☆久米川公園内に「子どもの施設をつくる会」ができる

「子どもの施設をつくる会」のみなさんが西武鉄道の電車をゆすり受け、文庫活動を始めました。その頃、市立図書館が一つもなかったため、学校の図書室が閉まってしまいう夏休みになると、子どもは本を読む場所に困っていました。



☆8月15日、くめがわ電車図書館が開館する(本の数は250冊)

夏休みに開館したこともあって、8月31日の夏休みが終るまでに2,323人が電車図書館を利用しました。団地に住む子どもだけではなく、東村山市内のいろんな地域や市外からやって来る子どももいました。



☆12月、4年生以上の貸し出しを始める(本の数は492冊)

1968年 ☆読み聞かせを始める

1970年 ☆東村山市の文庫への補助金制度を活用し始める



☆東村山市に市立図書館を建ててほしいとみんなでお願ひする

☆機関紙『でんしゃ』が創刊される(2018年2月、130号で休刊)

1974年 ☆5月6日、東村山市立中央図書館が開館する

1975年 ☆会員全員に本の貸し出しを始める

(本の数は4000冊)

くめがわ電車図書館のみなさんが協力してくれたおかげで市立中央図書館ができました。ありがとうございました。



●0156『文庫を生きる』(東村山市立図書館編/出版)ほか